

横浜美術館 コレクション展

子どもも、おとなも！

つくるわたしが、つくられる

10 歳からおとなまで
読みやすい解説つき

後ろを向いて立っている人が
います。表情は見えません。
がらんとした場所で、何か考
えごとでもしているのでは
うか。子どものように見える
けれど、おとなかもしれませ
ん。あれ、この人、どこかで
見たことあるような気も...

小学生以下無料
中学・高校生 100 円

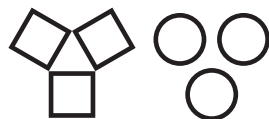


西野正将《New Generations》2006 年
発色現像方式印画、ラミネート加工
300.0 x 220.0 cm（寄託作品） 撮影：甲野善一郎

2025 年 12 月 6 日（土）－ 2026 年 3 月 22 日（日）

横浜美術館

YOKOHAMA MUSEUM OF ART

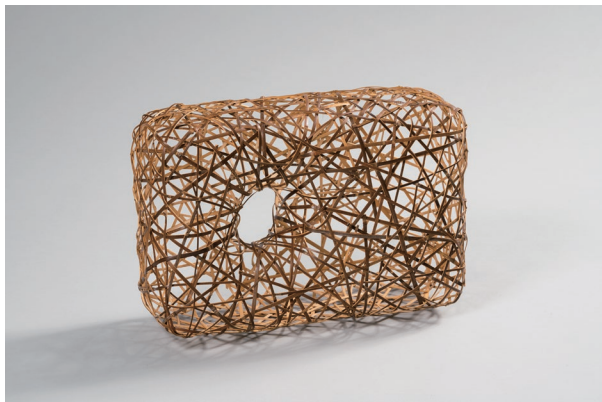


だれかと出会って、自分が変わった。絵具やねんどをいじっていたら、想像もしなかったものができた。こんな風に、自分や、自分がつくったものが、まるで知らないものみたいに見えてびっくりしたことはありませんか。

この展覧会では、自分ってだれなんだろう？その自分がものをつくるって、どういうことなのか？そんな疑問について考えるきっかけとなる作品をご紹介します。

子どもにとって楽しい、おとなの入門編として楽しい、そして、子どもとおとながいっしょに見て楽しい、みんなのための展示です。

材料は細く割(さ)いた竹。どんなふうに組み合わせていけば、こんなかたちになるのでしょうか。結び目ありません。自然の素材だから、節や曲がり、厚みや色もそれぞれ。自分の手を動かして追体験してみましょう。



関島寿子《向こうには何 III》2006年 クロテク、組む 26.5 x 38.0 x 15.8 cm



白髪一雄《梁山泊》1967年 油彩、カンヴァス 181.0 x 305.0 cm

『水滸伝(すいこでん)』は、108人の超人が大活躍する中国の物語です。「梁山泊(りょうざんぱく)」は、超人たちがいる場所の名前です。そう聞くと、びゅん、びゅん、と飛び回る超人たちの体の動きが、画面から感じられませんか。

観覧料 一般：500(400)円、大学生：300(240)円、中学・高校生：100(80)円、小学生以下無料 ()内は有料20名以上の団体料金(要事前予約)

※毎週土曜日は、高校生以下無料

※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料

※「いつもとなりにいるから 日本と韓国、アートの80年」展ご観覧当日に限り、同展の観覧券で「コレクション展」もご覧いただけます。

※「コレクション展(じゅうエリア)」は観覧無料

開館時間 10時～18時(入館は閉館の30分前まで)

休館日 木曜日、12月29日(月)～1月3日(土)

横浜美術館

横浜市区西みなとみらい3-4-1

tel. 045-221-0300

<https://yokohama.art.museum>

